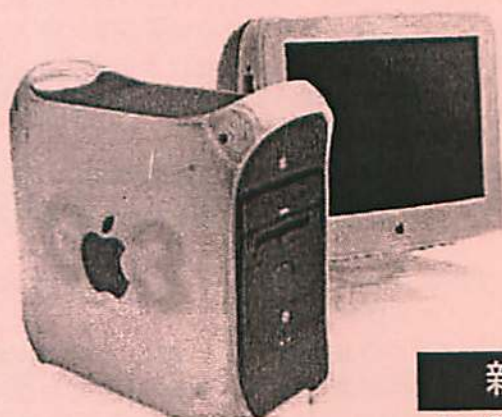


林檎

岩手Mac友の会

Vol.11, No.1 1999.6.26

Iwate Macintosh Funclub



Apple

林檎復刊！！

我が会報「林檎」が復刊しました！編集長不在のため休刊していたIMFの誇る会報「林檎」が、佐藤護人編集長の帰国咲きで復刊いたしました。

ここに復刊第一号をお届けできることは、私にとっても大きな喜びです。（毎号の原稿執筆の産みの苦しみは、完成した会報を見た時に忘れてしまいます。）

また、今回からはPDF版も発行いたしますので、そちらではカラー化された林檎が御覧いただけます。

林檎のカラー化にあわせて、この会報のロゴもカラーになりました。ロゴのデザインは2代目編集長だった徳富さんが再刊に合わせて作成してくださいました。ありがとうございました。

新製品ラッシュ

MacOS 8.6が出たと思ったら、新しいPowerbook G3, G3 Macのクロックアップ、更にMac OS X Serverの登場など、最近のアップルは話題にことかきません。

iMacが先鞭を付けたTranslucentの筐体は色々な製品に影響を与え続けていますし、多色化は周辺機器にも波及して、味気なかったComputer業界に一大Sensationを巻き起こしました。これは、もう文化と言える現象でしょう。常に業界に革新をもたらして来たAppleの面目躍如というところですね。我々Macユーザとしては、期待が広がる所です。

今年度も宜しく

申し遅れましたが、今年度の総会で私（野村 行憲）が会長に再任されました。何でも、働きが悪いので、もう1年やりなさいとのこと。そういった事情ですので、また1年間

勤めさせていただきますので、皆様の御協力をお願いいたします。

今年度の活動としては、前述の会報の再刊が目玉です。しかもPDF化して、MEGUMIと、IMFのWebサイト（[HTTP://www.imfc.org/](http://www.imfc.org/)）の両方に置く予定ですので、都合の良い方からDownloadして、カラー版をお楽しみください。

また、例会をマリオス7階の交流サロンを基本として第4土曜日、ナイトサロンを茶吹で第2火曜日に開催しますので、顔を出して楽しんで下さい。



Inside

総会	2
私のMaclife	4
Pilotの楽しみ	6
買った・使った・良かった WorkPad	7
ワインの話	8
林檎ギャラリー	9
総会案内	10
編集後記	11
会員名簿	11
掲示板	12

第12回

岩手Mac友の会総会

開催報告

...BY藤原
1999.5.22



まずは、照井副会長の司会で始まりました。
いつもごくろうさまです。



つづいて、野村会長あいさつ。某白石氏と
Appleマークを競っている。



佐々木 綵さん。TVコマーシャルを
コレクションして分析。スゴイ！

第12回岩手Mac友の会総会が、5月22日に自治会館で
開催されました。昨年度の活動報告、決算報告、新年度
の役員、活動予定などが承認されました。

その後、新会員になりました佐々木 綵さんが、
Macで相当な量のテレビコマーシャルを集めてそれを細
かく分析した研究のプレゼンテーションがありました。

毎日なんとなく見過ごしていたコマーシャルが一コマ
づつに分解され分析され、またサウンドロゴなども知恵
とアイデアと努力の結晶であるということを教えてい
ただきました。

学生時代の作品だそうです、大変すばらしいもので
した。その後、恒例の参加会員全員の近況報告が行われ
ました。

さらに長土居会員からファイルメーカーproを使った画
像データベースの発表がありました。

デジタルカメラの普及でたまった画像ファイルの整理
とプレゼンと実際に現場で印刷して使う方法の発表で既
製のソフトにない部分を補う柔軟な発想による物でし
た。

そして、さらに会議の最後のほうで休刊していた「林
檜」を再刊しようということになり、編集長には佐藤護
人会員が再就任されました。（ところでこの林檜のペー
ジのうしろの方に先生のワインの話が出るとおもいま
すが、先生はどうもこれを書きたいために編集長になっ
たふしがある?(`_`;)。副編集長はなぜか私、不肖藤原で
す。

私、できれば横になってポーとしている方が好いので
すが、新しい世界にチャレンジ！がんばりたいと思いま
す。



藪前編集長の近況報告です。



アドミニ（めぐみのサーバ
管理者）の土村講師

第12回岩手Mac友の会総会次第

開催場所：岩手県自治会館、3階、第一会議室（盛岡市山王町4番1号）

日時：1999年5月22日（土）午後1時30分

内容：

1. IMF総会次第

- (1) 1998年度活動報告、決算報告
- (2) 役員改選
- (3) 1999年度活動計画、予算
- (4) その他

2. 講演

- (1) 私の作品紹介 佐々木 綏
- (2) その他

3. 主な協議事項

- (1) 会報「林檎」扱い（編集長再選により、再刊が決定！）
- (2) 年会費 2千円

(3) 役員改選（以下は99年度の役員）

会長：野村 行憲（再任）
 副会長：照井 芳夫（再任）
 会計：笹川 順子（再任）
 MEGUMI管理者：土村 中（再任）
 編集長：佐藤 護人（新任）
 副編集長：藤原 友行（新任）

(4) 例会とナイトサロンの日程変更

例会：毎月第4土曜日、14時～於マリオス7F交流サロン
 ナイトサロン：毎月第2土曜日、19時～於茶吹（盛岡八幡宮境内）
 （日程に変更が生じた場合はMEGUMIで案内します）



会計の順子さま本当に
ご苦労様です。会計報
告はとんでもなくシン
プルで解りやすかった
です。



熊谷さんは
久慈から種
市に転勤に
なったそう
です。



長土居さんによるファイルメーカー
proを使った画像データベースの事
例が報告された。



藤原です。胸にボンダイ
ブルーのPHS。ワハハ、
ワハハ。



白石節の はじまり、はじまり、

総会後は有志約10名で懇親会。あてにしていた懇親
会場が貸し切りで利用できないため、中の橋から肴町
境界をあっちへウロウロこっちへウロウロ。

30分ほど放浪し、ついにこのオッサン軍団を受け入
れてくれる場所にたどり着きました。

その後については、お店を占領状態で、大きな声
で、Macの...、デジカメの...、映画の...、Palm Pilot
の...、音楽の...、オーディオの、ううう...

ご想像におまかせします。（それと会員になってよ
かったと思う瞬間は乾杯の麦酒のうまさは格別だ！と
いうこともその一つと思います）

最後に総会に出たのに写真が出なかった方、ごめん
なさい！野村会長から佐々木 綏さんを撮るようにだ
け言われており、まさかこのページを担当するとは夢
にも思っていませんでした。次の機会に・・・。

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	522,168	総会諸費用	39,270
会費(44名)	100,000	ユーザー会会費	6,000
利子	932	電気代電話代	41,000
		発送費	9,360
		筆込手数料	1,250
		印刷他消耗品	5,098
収入計	623,100	支出計	101,988
		本年度繰越金	521,112
計	623,100	計	623,100

以上98年度会計決算報告をいたします。

IMF 会計 笹川 順子



My Mac Life

私のMac life

佐々木 綵

-はじめまして-

Mac友の会若葉マークの佐々木 綵と申します。今年、故郷の盛岡で綵情報デザイン室をたちあげました。Macを使ってイラストを書いたりキャラクターデザインをしたり、曲を作ったり、といった仕事をしています。

-学生時代-

高校時代に、勢いで広告美術展に出した作品が知事賞をいただいて広告や様々なメディアで何かを表現したり、伝えたりしたいと考えるようになりました。

その後、東北芸術工科大学に入学。私が入った情報デザイン学科では、グラフィックデザイン、映像、情報環境、そして日本ではじめてできた情報計画学系がありました。

私は、グラフィックも映像も情報環境もやりたい!というよくばりだったためそのすべての要素が入っている情報計画を学ぶことにしました。情報計画は、いわば小さな仮想会社です。ひとりひとりが名刺を

持って営業をしたり、制作をしたり、発表したりと様々なグループワークを経験しました。

-Macとの出会い-

コンピュータ演習が苦手だった私は、パソコンという文字が見えると、できるだけ遠くに逃げることにしていましたが、とうとう観念しなければならぬ事態がおとずれました。「広報誌を作る」という課題がでたからです。

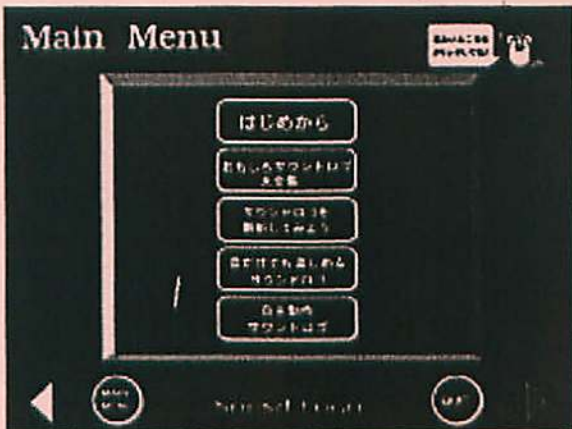
ここで、Macとはじめて出会いま

す。見た目は、なかなか好印象でした。その時の機種は、確かII SIかII CIで漢字talkは6でした。しかも、当時機種など全く興味がなかったため、学生時代の友人に電話して、機種を教えてもらいました。

さて、Macと出会ったものの恋には落ちませんでした。(私は一目惚れはしない性格なのです。)

使用していたソフトはイラストレーターやフォトショップなどがメインでしたが、マニュアルがどうしても苦手だったので学食をえさに、いろいろな人をつかまえては、「なんか





画面が動かないんだけど、どういこと？」とつめよったり作業をしている人の後ろに立っては背後霊のようにキーの動きを見ていました。そうこうするうちに、Macにすこしづつ恋心が芽生えたのです。

そして、山形県庁の時短推進ポスターの作成、お酒のパッケージやポスターの製作、イメージソングの作曲、すべてMacと共にがんばりました。自宅ではPerforma6200を使用していました。

-卒業制作作品-

卒業製作ではCD-ROMを製作。Mac友の会でも発表させていただきましたが、テーマは「サウンドロゴとは？」というもので、各企業のサウンドロゴ（企業の名前や商品名を短時間で音と映像で表現したもの）を自分なりに解析、分析し、もし自分だったらどういったサウンドロゴを作りたいか、ということでお話になった山形の各地を音と映像で表現しました。

そして、それが幸運なことに情報計画学系の最優秀の評価をいただき、東京では六本木にあるギャラリーAXISで展示、発表されました。

それがきっかけで山形さくらんぼテレビさんのお仕事をさせていただくことになったのです。山形在住の方だったら、だいたい私の作った曲

を知ってくれているはず。 (御希望の方にはCD-ROMを差し上げますが、Windows版しか生産されていません。)

-上京-

その後、仙台のデザイン会社をへて、東京にある恩師の会社でパッケージデザイナーとして、焼酎「いいちこ」などのパッケージデザインに関わるわけです。

今まで、版下入稿という形しか



とっていなかったものを初めてデータ入稿で印刷するという試みができたのも、一人あたり約1台あったMacのおかげです。

それにしても、東京は誘惑の多い土地でした。職場のあった銀座はショーウィンドウが手招きし、新宿はアルコールが私を呼び寄せ、秋葉原は電磁波で私を誘惑しました。

秋葉原でPowerMacの7500とモニターを中古で手に入れたときは、友人2人に手伝ってもらって電車を乗り継

ぎ、目黒まではこびました。もはや、それはMacへのゆるぎない愛からできたことです。ここで、もう私たちは離れられない関係になりました。

-現在-

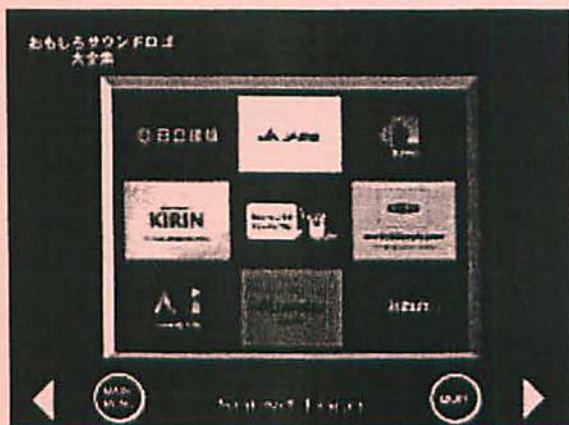
それから、1年して独立を決意しました。

音楽をもっとデザインの中に取り入れていきたかったこと、もっと統合的なことをやってみようという目標がずっと胸の中でくすぶり続けていたからです。

今は、自宅とマリオス7階のブースを貸していただいて仕事をしています。もはやMacがなくては、生活していけない状態になっています。言い方を変えればMacのおかげでご飯を食われているのです。いわばMacは旦那さまのようなものでしょうか。

そしてこれから岩手を、東北をもっと面白くしていきたいと野望をいだいている毎日です。

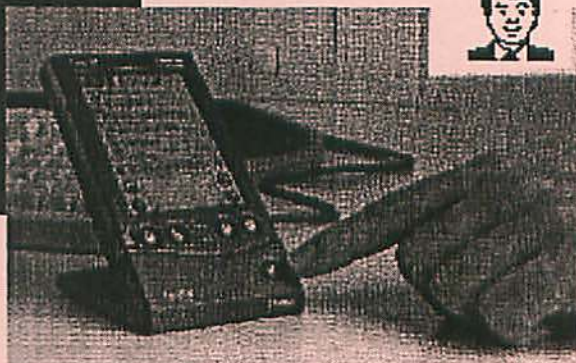
written by Aya Sasaki
edited by Ataru Tsuchimura



Palm Pilot™

The Very Connected Organizer

By 野村 行憲



私が、最初に Palm Pilot を手にしたのは、1997年6月2日でしたから、およそ3年の付き合いになります。

まだ US Robotics 社が販売元で、最初の Pilot 1000 からおよそ1年2ヶ月後でメモリーが1MB に増え、フリーのOS日本語化ソフト J-OS の完成度が上がり、日本語で「使える」PDA と呼べるようになった頃です。当時の正確な名称は Palm Pilot Professional といい、Mac と言うと Plus の頃に相当するでしょう。

個人的に PDA には、昔から興味があって、SHARP の電子手帳から、ZAURUS、そしてApple の Newton などを使って見たのですが、何かしっくりこないところがありました。でも Pilot は、まるで Mac のように手に馴染む不思議な PDA でした。

まっ先に考えられますが、バックアップやふだん使っているコンピュータとの連携が無いと不便なものです。

しかし、御安心を！オプションの Mac Pacを使うと右上の絵のように Pilot を Cradle (ゆりかご) と呼ばれる台に載せ、HotSync ボタンを押すだけで、バックアップが行われ、左下の画面のように、スケジュールや住所録、メモ帳、To Do ListなどをMac と共有することができます。

高い拡張性

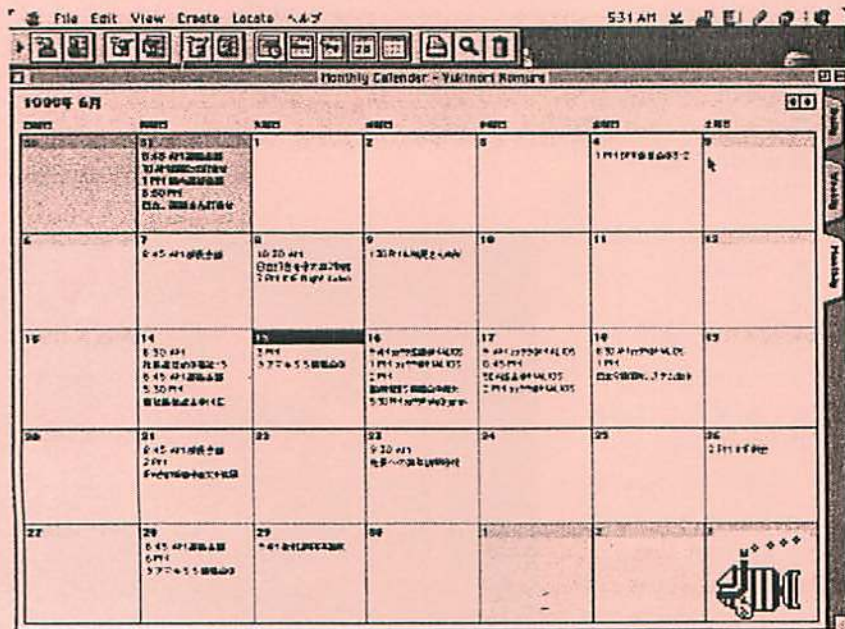
Pilot は、それ自身の拡張性としてシステムが入っている ROM と、追加のアプリケーションやデータを記録する RAM が一枚のボードに入っている構造の利点は、本体がバージョンアップされた時に、その

ボードごと交換することで、本体を買い替えることなく最新のシステムにすることができる点です。事実、私の Palm Pilot は、Upgrade によって外見はそのまま、実体はPalm-III として動作しています。

また、数多く出回っているソフトを自由に組み込んで、機能を追加できるのも大きな魅力です。最後に私が愛用している便利なソフトを少し紹介しておきましょう。

Macとの連携

PDA といえばスケジュール管理が



こさビーの秋葉マップ (便利)



手帳に不可欠な情報が満載
J-info
勿論、モデムでメールも読める！
ふっふっふ、欲しくなったでシヨ.....

(注) ちなみに、次頁の Work Pad では日本語版PalmOSが稼動し、Pilotでは英語版PalmOSを日本語化して使っている。



買った・使った・良かった

WorkPad

5月21日WorkPadを手に入れました。この原稿を書いている今日（6月12日）現在で3週間とちょっとですが、選択の経緯と使用感を報告します。

勤務先でもE-Mailが導入され「出張先でもメールの確認が必要になるだろうな」と感じたのが今年の秋。最初は当然ノートパソコンを考えました。が、「重い」「高価な」PowerBookは除外。候補は「Windowsノートパソコン」「Windows-CEパソコン」「PDA」になりました。

「Zaurus color pocket」そして「Zaurus igeti」が有力候補になり、そろそろ決めようかという矢先に衝撃的な情報が飛んできました。首都圏に住んでいる長男と次男が連れだって秋葉原でWorkPadを買ったとのことでした。WorkPad日本語版の発売を知ってはいましたが、IBMの製品がMacとの親和性に優れているとも思えず、PalmPilotのシリーズのOEMと聞いても「PalmPilotは野村会長程の技術力がなければ使いこなせない」と思っていました。しかし次男からは嵐のようなE-Mail。まずは、3Com社のサイトから「MacPac Version 2 (7.1MB)」を、見口知哉氏のサイトから「MacPac 2 日本語化キット」をダウンロードして、WorkPadが自分の道具になりうるかをテスト。約1週間で「Palm教に」入信してしまいました。

そうすると1日でも早く手に入れたのが人情。ビジネスショー出張の5月19日を「Xデー」と決めました。

前日（18日）の仙台出張から秋葉原に入り、早速イケショップモバイルプラザに飛び込みましたが、「本体は品切れ、入荷の予定は不明」と

のこと。Laox、T-Zonと秋葉原中回りましたがどこも「予約承り中」の張り紙。「ま、いいか。明日はビジネスショーを見た後又秋葉に寄って付属品でも買って帰ればいい」と気を取り直しホテルに入りました。

ビジネスショーはしっかりと見て（出張ですから）秋葉原に戻り、イケショップモバイルプラザに直行するとなんと月に一度の「定休日」。Laoxに回るとここも「定休日」。T-Zonは周辺装置ほとんど無く、アスキー発行の「WorkPad最強化バック420」なる本を仕入れて寂しく帰りの新幹線に乗りました。

買った

翌々日の5月21日は仙台出張。「たとえ2カ月待ちでもLaox仙台店に予約する」決心で向かいました。念のためヨドバシカメラに寄りましたが、「入荷日未定」の張り紙。絶望感におそわれながらもLaox3階へ行くと、なんと6台も有るではありませんか。まずは本体を現金で購入。自分でも分かるぐらいの興奮状態で、話すのにも息が弾んでいたのではないかと、後から思い出し一人赤面しました。すでにWorkPad c3も発売されていましたがあえてWorkPadを選択したのは、WorkPad c3が「ユーザメモリが2MB、充電式電池、拡張スロットが無い、1万円程高い」などの理由によるものです。WorkPadはPalmPilotの豊富な周辺装置やケースが使えるのも魅力でした。

使った

6月3日には会社のデスクで使用しているPowerBook 3400との赤外線ポート [IrDA] によるHuotSyncにも成功し、これで、自宅、会社、モバイルと3つの環境間でのHuotSyncが実現し、理想的な個人情報管理環境が

手に入りしました。

付属のCDがWindows版のみでしたがそんなものには手も触れず、PalmPilotのユーザーが作り上げた世界（PalmWorldとでも言いましょうか）から何でも手に入りしました。各種フリーウェア、シェアウェアのインストールも順調です。

MacPac 2は「クラリスオーガナイザー」を3com社が買い取ったものをベースにしているとのことで、ダウンロードしたのは残念ながら英語版でしたが、見口知哉氏の「MacPac 2 日本語化キット」のおかげで日本語化もでき、マニュアルを読まず（読めず？）に使えています。これもMacならではの世界ですね。

良かった

「デスクトップコンピュータのデータを持ち出す」という、WorkPadのコンセプトと購入目的が一致していたため、使用感は申し分ありません。

当初の購入動機であった、モバイルでのメールチェックの環境はまだ実現していませんが、「それを補って余りある」というのが実感です。

今回この環境を手に入れるについては、IMF野村会長が以前からPilotを使用されていたので、「いざとなったらおすがりすれば何とかなる」という「保証」にも近い安心感があつたればこそです。WorkPad購入を考えている方は迷うことはありません。WorkPad c3もなかなか良いのでその選択に少しだけ迷ってください。その内もっと進んだPalmOS搭載のPDAが発表されるかもしれませんが、他社からはそれ以上の製品は当分出ないでしょう。

照井芳夫



ワインの話

佐藤護人

しっかりとして力強く

これまでに経験した事の無い上品な香りであった。酸と渋味（タンニン）は十分な熟成をとげているので落ち着き、しっかりとした味わいを与えてくれ、心に訴えかけてきた。それは1966年のロマネ・コンティで、人生観を変える程の出会いであった。

そのワインを飲んだ後、一週間は素晴らしい香りと味が頭から離れなかった。女房にそのワインについて朝に夕に話しつづけたら、「そんなに良かったなら簡易保険を解約して買ったら」と言わせてしまった。カメラもパソコンも新しいものは買わず、ワイン一本で行こうとその時は決心した。

以前、酒は飲まなかった。

それがふとしたことから日本酒を飲み、モルト・ウイスキーを味わい、ワインの世界に入り込んでしまった。ワイン会は二丁目飯店の水会で、毎月第1水曜日午後8時に始まる。出席者は大体12~13人でワインはほぼ12本出る。従って一人一本は飲む計算になる。12時ころまで4時間もかければ、私でもどうにか飲むことができた。それに月に1回、高級ワインが出るスペシャルの会がある。その会でロマネ・コンテを30本程試飲しているが、その中の一本が冒頭のワインとの出会いであった。

ワイン会での記録は1992年12月から始まっている。その後、小型パソコンのHP200LXのデータベースにワイ

ンの評価をつけるようになり、現在793本のデータが入っている。評価に値しないものは記録しなかったので、実際は1000本は飲んでいる。正確にはテイステイング・グラスに一杯づつ1000本くらい試飲したということである。

良いワインを時間をかけて飲めば二日酔いは無い。見知らぬ人が同席しても一時間もすれば、とてもうちとけあう事が出来る。良いワインは雰囲気を一変させ、ノブで和やかな雰囲気をかもしだす。ある時、南フランス・ローヌ地方のワインだけを12本続けて飲んだら、何時もは言わないとげとげしい話になり、会の雰囲気が悪くなった。別の日に、その同じメンバーで素晴らしいラフィットが出たとたん、それまでの雰囲気が、がらっと変わり皆の顔がなごやかとなって、話題は上品になり、空気まで清められた様であった。あの時ほどワインの偉大さを感じたことは無かった。ある人曰く、「人がワインを選ぶのではなく、ワインが人を選ぶ」とのこと。最上のワインはそれ自体に神が宿るがごとく見事であり、わかる人に飲んで、真価を味わってもらいたがっているのである。確かに沢山のワインを感謝しながら飲んでいるので、たまには選ばれても良いのではないかと思う。

良いワインの条件はブドウの発育が良く、霜にも見舞われず、生産者が一所懸命作った物でなければ

ならない。輸送には生産者のワイン庫から出るときから保冷車を使い、日本に来てからも条件の整ったワイン庫に保存され、消費者が手に入れても最低3ヶ月はワイン庫に寝かせて始めて一定の条件が揃うことになる。更に良い年の熟成型のワインは数年もしくは数十年して、その最も素晴らしい表情を見せてくれるのである。

これまでに**おいしいワイン**に出会った事はたくさん有るが、感動したワインはそう多くはない。これまでに美味しいワインにどのくらい巡り合えたか考えると、それほど多くはない。ワイン会で飲んだワインのデータベースを見ると、総合点が10点満点で、8点以上が94/793本、9点以上が8/793本。8本中5本がロマネ・コンティで占められている。

その他は幻の甘口白ワインのイケム、ボルドーの貴婦人ラフィットが入っている。最近で印象的であったのは、第一次世界大戦でバルト海に沈められた帆船から引き上げられた1907年のシャンパンである。90年間じっと水深70mで4℃の快



1907年シャンパン

適な環境で熟成をとげ、細かい奇麗な泡も出て、妖しいまでに味も香りも素晴らしかった。何より風邪がみだったのが、飲んですぐ元気になり、翌日は快調になった。酒の神・バッカスが宿っていたのだろう。

ワインが美味しくなかった経験を持つ人が多い。レストランでも酒屋さんでもワイン庫を持って保管しているところが少ないせいである。また仕入れのルートが問題で、生産者から直接輸入せず東南アジア等の他国を経由して来たものは温度管理など問題が有るようだ。盛岡は東北でもワインの消費量が多いとの事。それはやはり二丁目飯店やヌッフデュバブを経営している菊池氏が、熱心にワインを紹介している事が貢献していると思う。



ワイン庫内 パネルが見える



ワイン庫内 ワインと樽

美味しいワインを飲みたい

ときは、信用のおける店で予算をはっきり言って頼むのが良いが、なかなか言えないものである。その時は予算が十分な時「味がたっぷりした美味しいワインを」、予算が少ない時は「あっさりしたワインを」と言う頼み方も有る。洋の東西を問わず有名レストランではワイン・リストを持って来るので、それには値段が明記してある。ソムリエに料理と合うワインを聞くと、幾つか候補をあげてくれるから、値段を見ながら決定すればよい。何も肩ひじ張ってワインを飲むことはない。気軽に色々飲んでみることをお勧めする。高いワインは美味しいし、安いワインでもそれなりに美味しくあって然るべきである。信用のおける店で……。中央通りリーガル・シューズ2階のブラッセリー三番館はしっかりしたルートの美味しいワインを飲ませてくれる。



理想のワイン庫

理想のワイン庫は温度：12～15度、湿度：約70%を保ち、振動が無く、日光が入らないことが条件である。特に湿度と振動が問題でコントロールが難しい。以前120本入りのデイ・セラー（電気小型ワイン庫）を購入したが、ある人に「保存は出来るが熟成はしない」と言われショックを受けた。確かにあの狭い所では、保存は可能だがワインはゆっくり休めないだろうと納得した。

ワイン庫を作るに際してエアコンを使う場合が多く、この風がワインの瓶に直接、しかも突然当たると、ワインが風邪をひくのである。要するに急激な温度変化を避け、出来るだけ一定の温度を保つことである。温度を一定にするには地下室が理想的であるが、我が家の設計者のアドバイスで、屋根裏部屋を拡張工事した。断熱はグラスウールを10cm、更にウレタンフォームを10cmの厚さに吹きつけた。これに

よって外気温度によるワイン庫の温度変化が少なく安定した。

さらに、我がIMFの会員である長土居さんのアドバイスと支援が有って、ワインに風邪をひかせないワイン庫が可能となった。長土居さんの東北PSのパネルを使用して冷気を吹かせることなくワイン庫全体を冷却したのである。

問題は湿度である。ワイン業者の伊勢屋さんのアドバイスで数個のプランターに特別な鹿沼土を入れ、時々水をまいている。普段は80%で、これではカビが生えるはずであるが、内面の壁に張り巡らしたヒバの板が、カビを見事に防いでくれた。ヒバの香りはとても良くて、ワイン庫から出てくると残り香ですぐに女房にばれてしまう。ワインのコルクを抜くとコルクの上部はヒバの香りがするが、コルクの下部には全く香りはないのでワインには影響していない。ここでゆっくり休んだワインは熟成しワインの素晴らしさを発揮してくれている。

GALLERY



Carl Zeiss Sonnar T*135mmF2.8 F2.8-auto KODAK EA

このレンズ、カールツァイスレンズ群の中では格別に安い。

まあ、安いから私にも買えるのだが。

同クラスのレンズで比べれば国産メーカー品の三倍くらいは当たり前のカールツァイスレンズだが、これは国産メーカー品の二割増し程度の金額で買える。

この安さのためか、カールツァイスファンの中では不当に軽くあしらわれているフシがある。

たしかに、二十〜三十万円クラスの特級品に比べればデイトールで及ばないが、カールツァイスレンズの醍醐味はその豊富なコントラストとトーン再現にある。と、思っている。

その意味ではこのレンズも、まさにカールツァイスレンズの名に恥じない一品である。

この写真は去年の秋のモデル撮影会のもの。カールツァイスシステムに乗り換えてから初めての本格的撮影だった。

主題であるモデルの顔が画面ど真ん中にきているが、これは俗に日の丸構図とよばれ、古くから構図上もっとも悪い例（芸が無い）とされているものだ。

なぜこうなっちゃったかという点、カールツァイスレンズはオートフォーカスではないのだ。

今まで国産カメラでオートフォーカス三昧してきた身にはマニュアル合わせはとってもハードなのはフィルム四本使って、なんとかピントが合ったのは五〜六コマという位だった。

ピント合わせるのに精一杯だという駄作の山とピントがきっちり来ていないのと絞り解放で撮ったため、やや甘口の描写になったが、

Sonnar T*135mm/f2.8の色乗りこってりとした描写力の片鱗は表現できたと思う。

編集後記



しばらく休刊して、淋しい思いをしておりましたが、どうにか再刊にこぎ着けました。皆さんも是非とも編集を手伝って下さい。そして記事もみんなで書いてみましょう。それぞれの得意分野を是非ご紹介してください。みんなの「林檎」です。今回の「ワインの話」はワイン仲間や友人にも見てもらうつもりで書きました。

佐藤



ひさしぶりの林檎編集です。周りがG3化している中でのおんびりと編集できるのは幸いです。そういえば、今朝見た新聞にAppleの全面広告が有って、ゆっくり仕事をしたい人は、Intel を買いましょうといった内容のコピーがあったなあ...

野村



丸1年ぶりの林檎再刊▽林檎編集でおぼえたPageMakerで今や勤務先の社報編集委員長▽恩返しをしなくてはと考えています。

照井



...というわけで、拭く変首長のフジワラです。ページメーカーは、丸つきり使ったことが無いのに2~3ページ目を仰せつかりました。みなさん、しっかりめんどう見て下さいね、という感じのスタートでしたがいかがでしたでしょうか？次回はページメーカーをもうちょっと練習しておきます。

藤原



久々にまた、私がこのページと裏表紙を担当することになりました。みなさん、よろしくお願いたします。

土村

会費納入先

振込先(郵便貯金総合口座)

記号:18370 番号:11993671

名義:岩手Mac友の会 笹川順子

尚、振り込まれた場合は、住所・氏名・連絡先などを別途ご連絡ください。振り込み通知書だけでは情報が不足し、どなたの振り込みか確認できない場合がありますので、宜しくお願いいたします。

会員名簿

浅田 昌稔	IMF035	北上市	白石 茂	IMF201	盛岡市
我妻 則明	IMF241	盛岡市	白石 隆	IMF039	盛岡市
安倍 富士男	IMF230	盛岡市	白沢 道生	IMF207	盛岡市
阿部 好晴	IMF203	盛岡市	菅原 忠雄	IMF124	花巻市
飯島 仁	IMF286	滝沢村	杉村 栄一	IMF036	盛岡市
一井 誠	IMF122	盛岡市	杉村 峰秀	IMF113	花巻市
伊藤 光司	IMF077	花巻市	鈴木 裕之		盛岡市
伊藤 誠	IMF274	盛岡市	瀬谷 圭太	IMF264	盛岡市
井上 博幸	IMF239	盛岡市	外川 正	IMF244	盛岡市
祝田 明子	IMF227	盛岡市	高島 浩一郎	IMF012	盛岡市
宇佐美 公生	IMF228	盛岡市	高橋 晃	IMF031	盛岡市
大木 哲	IMF206	盛岡市	高橋 丈	IMF261	北上市
沖野 晃	IMF044	二戸市	高橋 哲矢	IMF260	西根町
小野寺 一郎	IMF248	紫波町	高橋 浩幸	IMF091	盛岡市
粕谷 貴志	IMF282	盛岡市	田鎖 清光	IMF278	盛岡市
神 達宏	IMF229	盛岡市	田村 修	IMF242	盛岡市
上平 幸雄	IMF291	盛岡市	千田秀明	IMF285	東磐井郡
菅野 研一	IMF211	宮古市	千葉 浩保	IMF126	盛岡市
菅野 卓矢	IMF006	盛岡市	塚野 弘明	IMF204	盛岡市
菊池 弘光	IMF269	花巻市	土村 中	admin	盛岡市
木村 栄子	IMF268	盛岡市	寺田 明功	IMF068	八戸市
木村 直弘	IMF270	盛岡市	照井 芳夫	IMF026	花巻市
工藤 聡	IMF094	秋田市	遠山 明人	IMF200	盛岡市
工藤 まさき	IMF275	二戸市	徳富 亘	IMF015	花巻市
國光 勝美	IMF243	盛岡市	戸田 文彦	IMF234	盛岡市
久保 司	IMF235	山形村	戸塚 孝徳		盛岡市
熊谷 茂	IMF279	盛岡市	永澤 幸雄	IMF118	盛岡市
熊谷 知暁	IMF273	種市町	中島 忠助	IMF236	盛岡市
熊谷 朋也	IMF008	秋田市	長土居 正弘	IMF087	盛岡市
熊谷 雅也	IMF249	大船渡市	中野 岳史	IMF254	盛岡市
鋤持 ゆかり		渋谷区	夏目 俊	IMF276	盛岡市
小熊 信行	IMF280	盛岡市	成田 新一	IMF288	盛岡市
後藤 百合子	IMF271	盛岡市	西島 光茂	IMF017	盛岡市
小松 寿夫	IMF102	仙台市	根本 聰彦	IMF042	札幌市
今田 莞爾	IMF256	盛岡市	野村 行憲	IMF000	盛岡市
近藤 英一	IMF226	紫波町	長谷川 晃	IMF240	花巻市
斎藤 秀一	IMF109	盛岡市	花立 純	IMF246	矢巾町
斎藤 博之	IMF251	盛岡市	濱 朋哉	IMF263	玉山村
斎藤 裕	IMF262	紫波郡	福井 和彦	IMF218	盛岡市
酒井裕之	IMF284	花巻市	福士 喜兵衛		盛岡市
桜井 瑞子	IMF267	滝沢村	福田 健次	IMF005	花巻市
笹川 順子	IMF220	盛岡市	藤澤 義榮	IMF209	花巻市
佐々木 明宏	IMF088	盛岡市	藤村 秀男		滝沢村
佐々木 幸司	IMF033	盛岡市	藤村 洋	IMF028	盛岡市
佐々木 雄久	IMF202	岩手町	藤原 友行	IMF265	盛岡市
佐々木 則之	IMF299	矢巾町	古川 裕一	IMF225	盛岡市
佐々木 治男	IMF237	矢巾町	本多 健一郎	IMF025	盛岡市
佐々木 秀輝	IMF258	西根町	三浦 秀徳	IMF283	仙台市
佐々木 宏光	IMF281	盛岡市	三浦 吉範		盛岡市
佐々木 文雄		紫波町	村上 厚子	IMF257	盛岡市
佐々木 眞嗣	IMF247	盛岡市	村上 宏文	IMF099	盛岡市
佐々木 吉信	IMF215	盛岡市	村上 弘行	IMF049	盛岡市
佐藤 顕	IMF093	仙台市	村田 知己	IMF266	盛岡市
佐藤 雅子		盛岡市	柳田 久弥	IMF231	石鳥谷町
佐藤 学	IMF119	胆沢郡	敷 敏裕	IMF214	盛岡市
佐藤 透人	IMF010	盛岡市	山田 政行		盛岡市
佐藤 安男	IMF232	盛岡市	山本 淳	IMF034	盛岡市
渋谷 昌二郎	IMF238	二戸市	吉田 勇一	IMF255	滝沢村
清水 昭子	IMF272	北上市	吉永 國光	IMF259	盛岡市
十文字 保雄	IMF277	二戸市	渡辺 浩志	IMF069	能代市

(1999.5.現在)

例会案内

8月 28日(土)
9月 25日(土)

14:00 開場
15:00 例会
17:30 解散

場所:
マリオス 7階
交流サロンにて

七月の例会

7月 24日(土)の例会は、盛岡駅裏西口にできましたマリオスの7階にあります交流サロンの中にありますオープン会議室を借りておこないます。

尚、駐車場は青空と立体の2カ所があります。どちらも、150円/30分と、ちょっと高めです。

ナイトサロン案内

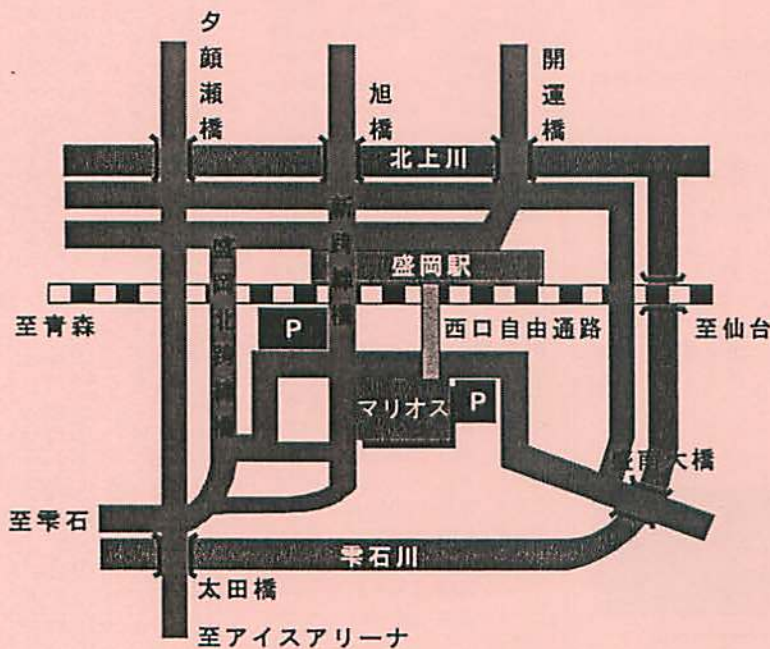
ナイトサロンは、毎月第二火曜日に、八幡宮境内にある喫茶店、愛名亭「茶欧」において、午後7時頃から開催しています。

是非、お時間のある方はお出てください。問題点などはその場で解決できると思いますよ!?

「茶欧」

☎ 019-654-6249

IMF例会開催地地図



場所
マリオス 7階
交流サロン 会議スペース



「林檎」46号は...

First Class	ATOK8
Color Magician	EG-Bridge
EG-Word	Freehand
HyperTerm	Illustrator
MacPaint	MacVJE
MacWrite	NinjaTerm
NISUS	PageMaker
PhotoShop	SoloWiter
StreamLine	SuperPaint

等で作ったものをPageMakerでまとめLaserWriter, Microlineでプリントしました。

「林檎」第46号 1999/6/26
編集長 佐藤 護人
発行 岩手Mac友の会
代表者 野村 行憲
020-0105 盛岡市北松園 3-34-2

非売品